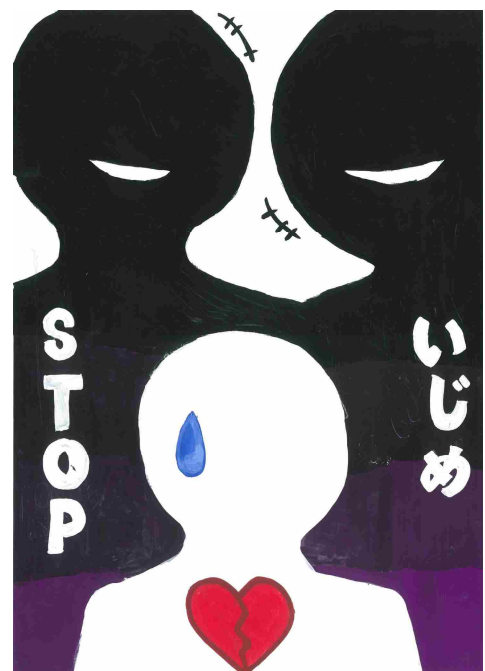


令和5年度版

# 人権啓発視聴覚教材一覧

VHS、DVDなどを無料で貸出いたします。  
人権啓発教材としてぜひご活用ください。

「第74回人権週間津山市児童・生徒ポスター」最優秀作品



津山市

## ご利用案内

津山市では、人権教育・啓発用ビデオやDVDなどの視聴覚教材を用意して、学校・幼稚園・保育園・公民館・企業など諸団体及び個人のご利用をお待ちしています。津山市内の団体・個人が対象です。

ご利用にあたっての手続きと貸出条件は次のとおりです。

### 1 借用の申し込み

事前に、人権啓発課へお電話で視聴希望の教材の空き状況を確認した上で、このパンフレットの借用申込書をコピーしてFAXで申し込んでください。

### 2 受け取りと返却

人権啓発課窓口へ直接お越しください。返却日は厳守してください。

### 3 借用費用

無料です。

### 4 貸出する教材

貸出用のビデオ・DVDなどは、154点あります。このパンフレットに、題名、内容などをご案内していますので、お選びになる時の参考にしてください。

### 5 貸出数

1回の貸出数は、3本以内とします。

### 6 貸出期間

団体 1回2週間以内

個人 1回1週間以内

### 7 貸出を制限する場合

次のような場合は貸出をお断りしています。

○入場料や受講料を徴収して視聴させる場合

○営利を目的として視聴させる場合

○法令等に違反する上映をする場合

### 8 その他

教材に異常等がありましたら、速やかにご連絡ください。

### 【お問い合わせ】

津山市総務部人権啓発課人権係

〒708-8520 津山市新魚町17番地 アルネ・津山 5階

津山男女共同参画センター「さん・さん」内

電話 0868-31-0088 FAX 0868-31-2534

開所時間：(月・水～金) 午前10時～午後7時

(土・日) 午前10時～午後6時

休日：火曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日

# 人権視聴覚教材借用申込書

令和 年 月 日

津山市総務部人権啓発課長 殿

住所 \_\_\_\_\_ 団体名又は個人名 \_\_\_\_\_

申込責任者 \_\_\_\_\_ 連絡先電話番号( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

次のとおり借用を申し込みます。借用した教材については返却まで責任を持って管理します。

●借用目的 : 人権教育 ・ 人権啓発 ・ 学習 ・ その他( \_\_\_\_\_ )  
該当に○をしてください

●借用期間 : \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日から \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日まで

●借用教材とその用途など

教材番号	用途	対象	予定人数
【記入例】 100	授業・社員研修・高齢者学級 など	児童・社員・高齢者 など	100

◇貸出にあたってのお願い◇

- 他人に譲渡・貸与はしないで下さい。団体の場合は団体内の使用に限ります。
- 万一損傷・紛失した場合は、すみやかに連絡してください。

## 【連絡先】

津山市新魚町 17 番地 アルネ・津山 5 階  
津山市総務部人権啓発課人権係  
電話 0868-31-0088  
FAX 0868-31-2534

人権啓発課処理欄			
貸出	返却	係長	課長
( 月 日 )	( 月 日 )		

※個人情報 は貸出管理に関わる業務以外には使用いたしません。

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
1	現代社会と人権 ～同和問題を考える～	ドキュメンタリー (昭和60年)	中学生向けの基本的な人権学習教材。同和問題に限らず社会の様々な差別問題に目を向け、明るく住みよい社会づくりに貢献できる人間を育てる。	20	VHS
2	①部落差別のおこり 以前を考える	ドキュメンタリー (昭和60年)	昭和58年に実施した同和問題意識調査の結果を受け、被差別部落の歴史的背景を ①「古代から中世まで」 ②「秀吉の全国統一から江戸幕末まで」 ③「明治から現代まで」以上、3つの時代に分け学ぶ。	21	VHS
3	②部落差別のおこりを 考える			22	VHS
4	③部落差別解消への 歩みから考える			23	VHS
5	私たちと人権 (家庭編)	ドラマ (平成元年)	(家庭編)男だから・女だから・仕事がこうだから・世間体・近所付き合いなど (職場編)バワハラ・性別での役割分担など (課題編)いじめ・身元調査・人種差別など 多数の人権問題を見つめ、私たちの意識や態度を見直すことの大切さに気付かせる。	26	VHS
6	私たちと人権 (職場編)			29	VHS
7	私たちと人権 (課題編)			30	VHS
8	ペロ出しチョンマ	アニメ (昭和62年)	江戸時代、厳しい身分制度があった頃の話。仲良くしていた少年長松と辰一家に起きた事件を通し、権力による分断支配が仲間の傷つけ合いを生むことについて、子供たちに分かりやすく伝えている。	15	VHS
9	みんなのもり	アニメ (平成元年)	力の強い狼がやってきて乱暴をはじめた。森のみんなはどうするかな？低学年向けに描く。	16	VHS
10	海のコウモリ	アニメ (昭和62年)	小4のアキラには、偏見や差別の心があった。言葉の不自由なヒデヤスと出会い悪者扱いするが、徐々にヒデヤスの本当の優しい気持ちを知っていく。偏見や差別意識について考えみんなが一人の人間として認め合うことの大切さを伝える。	28	VHS
11	同和対策の成果と これからの課題	ドキュメンタリー (平成7年)	同和地区に対して、実体的差別の解消を図るべく住環境・産業職・教育・福祉衛生・人権啓発などの対策が施された。実体的差別が解消されても、心理的差別は残っている。これからの課題を提示し考える。	26	VHS
12	新ちゃんがないた！	アニメ (平成2年)	四肢性マヒの新一は、病院設備が整った浜なす学園から地域の小学校に転校し、幼なじみで仲良しのツヨシと同じクラスになった。昔は泣き虫だった新一が嫌がらせを受けても泣かなくなっていた。新一を変えるきっかけをくれたのは浜なす学園にいた高校生のお兄さんの話だった。そんな新一が母親の感謝の言葉について泣いた。新一とツヨシの友情を描き、真の強さや思いやりを考える。	36	VHS
13	偏見の構図	ドラマ (昭和61年)	ある街に痴漢が出るという噂が流れ、中学生の石井が疑われた。外見・家庭環境などから、根拠もなく子どもに差別的レッテルを貼る心ない大人のゆがんだ価値観について考える。	30	VHS
14	直子のプローチ	ドラマ (平成3年)	中学生の直子は、お世話になった看護師(可奈子)の結婚問題から部落差別の実態を知りショックを受け、同和問題に関心を持ちはじめた。部落差別を許さない心を持ち成長していく直子の目線から、差別されている人の心情を考え、望ましい人間関係をどのように築いていけばよいか考える。	23	VHS
15	春の汽笛	ドラマ (昭和57年)	中3の俊は、エリート校に通い成績優秀だったが両親の期待に重圧や孤独を感じていた。そんなとき、幼なじみの不良(太郎)と出会い太郎の友人(在日朝鮮人・同和地区の子)とも仲良くなった。ある日、俊の父が急死する。太郎たちとの交流と父の死を通し、大切なのは学問だけでなく自分を強く変えていくことだと気付き、差別を許さない心を持ちたくましく生きようとする。	54	VHS

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
16	勇気あるホテルと とべないホテル	アニメ (平成7年)	とべないホテルを励ます仲間と足が不自由な少女を支える兄弟との触れ合いを通して、優しさと思いやりの大切さを伝える。	17	VHS
17	がんばれ！青春先生	ドラマ (平成4年)	新任小学校教諭が子どものけんかをきっかけに、部落問題に関わり、解決していこうとする。保護者との対立でくじけそうになるが、子どもたちと一緒に悩みながら、差別の愚かさを訴えていく。親たちの心ない言葉が純真な子どもの心を傷つけてはいないだろうか…部落差別と子どもの気持ちを考える。	54	VHS
18	母の日記	ドラマ (平成4年)	夫の両親を介護する晴代と娘の泉。結婚の際、夫の家族に同和地区ということで反対されたが、温かい家庭を築き夫の両親を大切に思っていた。ある時、義妹(君子)が両親の介護を始めたが、愛情を持たず両親に接する君子に対し、晴代は不安を抱く。そんな君子が母の日記から「分け隔てなく愛情をもって接すれば、思いは人の心に通じる」ことを知った。家族の織りなす人間模様から部落問題・高齢者介護に焦点を当て、偏見や差別をしない気持ちの大切さを描く。	49	VHS
19	明子のハードル	ドラマ (平成5年)	明子・リエ・久美は同じクラスの中学2年生。学校での盗難事件をきっかけに、お互いに相手を差別する心を持っていたと気付く。一方、三人の家庭環境の中にも差別につながる偏見が潜んでいた。学校や社会で起こる差別を浮き彫りにし、三人の中学生が差別を許さない心、差別に負けない心を持つとする姿を描く。	41	VHS
20	心のどこかに	ドラマ (平成7年)	家が向い同士の家族間でおきた部落差別の話为例にあげ、父が娘に同和問題について語る。同和問題について理解しているつもりでも心のどこかに差別の心があること、その心を取り除くには積極的に自分の問題として考えていく必要があることを伝える。	30	VHS
21	花咲く日	ドラマ (平成4年)	悟朗は、真理が同和地区出身ということで家族に結婚を反対されていた。母の入院・両親の老い・悟朗の結婚…家族に問題が降りかかったが、三浦の爺さんの過去の経験談が父の考えを変えていく。また、悟朗の熱心な態度から、大反対していた兄も大切なのは世間体などではないことに気付く。人間の尊厳と部落差別の実態の中で問題を解決しようとする。	55	VHS
22	ゆかりの鍵	ドラマ (平成9年)	心配性の母に机の鍵を取り上げられた中学生のゆかり。その鍵を探そうと、両親が過去に部落差別で結婚を反対されたことを知ってしまう。部落差別について真剣に考え始めるゆかり。そんなある時、両親から兄が養子だと知らされる。ゆかりと彼女をとりまく人々の生き方を通して、家族の絆とは、部落差別とは、を考える。	54	VHS
23	太郎のががみ	ドラマ (平成2年)	転校生の太郎はいじめられていた。太郎の担任の先生が愛情を注ぎ解決しようとするが、クラスの保護者に先生が同和地区出身だから…と差別される。ある日、先生がクラスで太郎の障がいのこと、自分の生い立ちのことを話すと、いじめた子は反省し、太郎を理解しようとした。部落差別と障害者差別の問題を考える。	56	VHS
24	春をまつ雪	ドラマ (平成7年)	佐枝子は家族に反対されながらも同和地区の青年と結婚し、幸せに暮らしていたが、両家の溝は少なからず続いていた。ある日、仲の良かった友だちの同和地区に対する差別意識に傷つく。結婚に絡む同和問題には、自分が勇気を出して前を向かない限り、問題解決にはならないと気付き、行動に移すのであった。結婚により浮かび上がる同和問題を結婚成立後の課題に的を絞って考える。	53	VHS

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
25	はるか素顔の19歳	ドラマ (平成10年)	ゴルフ場でキャディーとして働くはるか、常連客の奥村から「娘の早苗と同和地区出身の青木との結婚を反対している」という話を聞きショックを受けたが、二人の結婚を応援し始めた。はるかの応援の甲斐あって、青木と早苗の思いはついに奥村に届く。はるかの目線から部落差別について考える。	54	VHS
26	とんび家族	ドラマ (平成10年)	中学生の強と両親の思いはすれ違っていたが、ある事件をきっかけに、互いの思いに気づき、家族の心は通じ合っていく。「育つ」と「育てる」がせめぎあい、触れ合って子どもは生きる力を掴む。	54	VHS
27	クレヨン之星	アニメ (平成3年)	平和だったクレヨン之星で一番偉い人を決めるために起きてしまった争いの物語。争う事とは…思いやる事とは…を考える。	14	VHS
28	友情へラン!	ドラマ (平成8年)	仲の良い中学生グループに起きた事件をきっかけに、世間体を気にした大人たちの生き方が浮かび上がる。差別、偏見、ことなかれ主義に負けまいとする中学生の行動を描き、「心の絆」を大切に思う気持ちと部落差別をなくそうという積極的な態度を育てる。	45	VHS
29	贈られた湯飲み茶碗	ドラマ (平成7年)	陶芸家の洋一は陶芸展に出品したが落選した。一方、後輩の綾子が入選したことから、洋一は綾子に劣等感を持ち、彼女が同和地区出身ということもあり差別的態度をとった。しかし、阪神・淡路大震災で被災したお年寄りとのふれあいを通して、自分の中にある差別意識に気づき考えを見直していく。	48	VHS
30	くもりのち晴れ	アニメ (平成8年)	幸子は喋り方をからかわれ、いじめられていた。その幸子がクラスの劇でいじめられ役を演じ、幸子の思いがみんなに伝わる。クラスが劇を成功させようと一致団結した結果、いじめられる人の気持ちに気づき、思いやりのあるクラスに成長していく。	40	VHS
31	家族の条件	ドラマ (平成6年)	優子は、幼いころ両親を亡く、優しい祖父に育てられた。優子には婚約者がいるが、母が同和地区出身だったという理由で婚約者の家族に結婚を反対されている。一方で、優しい祖父もかつて自分の両親の結婚に猛反対したこと、優子の誕生を祝福しなかったことを知る。揺れる二つの家族を通して結婚問題を考える。	83	VHS
32	負けるな!千太 -さよならいじめ虫-	アニメ (平成8年)	少年千太といじめっこの心を虫に例え、だれの心にもいじめ虫が潜んでいて、いじめという行為がいかに醜いものであるかを考える。	24	VHS
33	ぼっぼちゃんの目につき	ドラマ (平成7年)	聴覚障がいのある少女(ぼっぼちゃん)と家族・先生・友達・外国人との明るい触れ合いの中で、言葉だけでなく気持ちがあれば通じあえることを描き、日本人特有の閉鎖的な国際性についても考えさせる。	40	VHS
34	共に生きる	ドラマ (平成元年)	中学生の百合子は、母がボランティアで目と耳が不自由なお年寄りの世話をしていることがきっかけで、お年寄りと関わりを持つ。活動を通して、母とお年寄りが互いに感謝をしながら接しているのが見えてきた。それは「共に生きる」という精神の大切さを感じさせるものであった。	18	VHS
35	いじめ① 1000の叫び	ドキュメンタリー (平成8年)	いじめられ、自殺した少年(大河内清輝君)の両親が語る「自殺」と「死」。清輝君の両親に寄せられた手紙を交え、いじめの悲惨さを伝える。	30	VHS
36	いじめ② 僕は死にたくない	ドラマ (平成8年)	勇介は親友の正男がいじめられているのを目撃するが、友達に相談したところ「関わらない方がいい」と言われ、見て見ぬふりをしてしまう。そして、クラスメイトの傍観の中、いじめはエスカレートしていく。クラスメイトの取るべき行動を考える。	30	VHS
37	いじめ③ 大人たちへのメッセージ	ドキュメンタリー (平成8年)	子どもはなぜいじめを親や先生に言えないのか。大人がいじめを発見するにはどうしたらいいのか。いじめの責任はどこにあるのか。専門家による分析を基に、大人の言動を考え、いじめを許さない姿勢を示す。	40	VHS

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
38	わたしだけが	ドラマ (平成7年)	小学6年で転校してきた秋子は、クラスで差別され、いじめられている。クラスメイトの雪江の目線から、いじめを放置せず向き合っていくことの大切さを伝える。	15	VHS
39	いじめっこザルと 正直カニさん	アニメ (平成8年)	さるかに合戦の話を中心に、いじめの愚かさ、その仕返し場面から、何事も暴力では解決できないと教える。	12	VHS
40	鉢かづき姫	アニメ (平成10年)	観音様のおついで鉢をかぶせられ、そのことでいじめられても、力強く生きた「鉢かづき姫」の昔話から、親子の絆と人権問題を考える。	34	VHS
41	明日はわが身 ～老人介護と助けあい～	ドキュメンタリー (平成11年)	脳卒中の後遺症で半身マヒになったお年寄りの思いと介護する側の思い。みな健康で生き生きとした老後を送りたいが、現実はどうか。お年寄りは自立心を失わず、若者は「明日はわが身」という自覚を持ち、思いやりをもてる人間関係とは何かを考える。	30	VHS
42	高齢化社会への手 引き ～はつらつ毎日～	ドキュメンタリー (平成9年 購入)	ラグビー・ダンス・絵画・水泳などのクラブやサークルで、人と交流をしながら趣味を楽しみ、体を動かす。そんな老いの生活を楽しんでいる方々を紹介。高齢者について理解を深め、これからの高齢社会を考える。	20	VHS
43	おじいちゃんのトマト	アニメ (平成10年)	祖父が半身不随になり、介護をすることになった貴志の一家。周囲に頼れず一人で介護をしなければならぬと苦しむ母、仕事が忙しく介護を妻に任せきりの父。寝たきりの祖父を嫌う妹。学校で友達を傷つけてしまい落ち込む貴志。いつしか気持ちがバラバラになってしまった家族だが、トマトを嵐から守ろうとする祖父の熱意に打たれ、思いやる気持ちを取り戻していく。高齢者問題、差別問題を考える。	39	VHS
44	いじめゼロをめざして ～家庭と学校の連携～	ドラマ (平成10年)	中学生の英美はクラスでいじめられるが、明るく振る舞い誰にも相談できずにいた。子どもが隠そうとするいじめは見えにくい。大人はどう対応したらよいのか、子どもたちのSOSを早くキャッチするには…学校と家庭の役割を考える。	30	VHS
45	エイズと生きる人 ～平田豊さんは語る～	ドキュメンタリー (平成5年)	エイズ治療中の平田さんが周囲に感謝している一方、偏見を持つ人へエイズの正しい理解を呼びかける。	24	VHS
46	阪神大震災被災者の 心	ドキュメンタリー (平成7年)	阪神大震災被災者が、被災者同士の助け合い、ボランティアの学生や遠方から駆け付けた人への感謝の気持ちを伝えるとともに、生活が落ち着いてきたころに感じる不安や家族を亡くした悲しみを語る。	20	VHS
47	相手の身になって ～生活の中の間人間関係～	落語 (昭和51年)	円滑な人間関係とは、相手の立場になって考えること。三遊亭円右がユーモアあふれる落語で語る。	32	VHS
48	金色のグジラ	アニメ (平成6年)	急性リンパ性白血病にかかり入院した6歳の祐一。多忙な父と、看病でほとんど家に居ない母、兄(勉)は寂しい日々だったが、祐一に骨髄移植する決意をする。家族愛と家族を支える周囲の人々、友人の温かさを描き、思いやりの心を伝える。	25	VHS
49	ふれあい家族	ドラマ (平成9年)	阪神大震災後、仮設住宅でひとり暮らしの信一と仲良くなった人々との生活に、息子(肇)と孫(博)も関わっていく。部落差別・人種差別・様々な偏見に直面し、すれ違い、ぶつかり合い、反省しながらそれぞれの生き方を見つめ直し、互いに尊重しあう家族の絆を描く。	48	VHS
50	おじいちゃんの花火	アニメ (平成10年)	交通事故で両親を失い、自らも障害者となった百合子が、介助犬とともにまだ見ぬ花火職人の祖父に会いに行く物語。祖父は百合子の両親の結婚に反対していたのだった。百合子の目線から、部落問題をはじめ様々な差別問題と人権尊重の社会づくりについて考える。	25	VHS
51	絶滅収容所 アウシュヴィッツ・ビルケナウ・トレブリンカ	ドキュメンタリー (平成10年)	第二次世界大戦中ヒトラー率いるナチス・ドイツの政策によってポーランドに数カ所作られた収容所では、ユダヤ人をはじめとする多くの人が虐殺されたといわれている。現在国立博物館となったアウシュヴィッツの映像を、他国での過去の出来事としてではなく、無残に全てを奪われた人・虐殺した人たちに関わる人権侵害の問題として捉える。	20	VHS

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
52	負けへんで！ ～6年3組の阪神大震災～	アニメ (平成8年)	1995年1月17日の阪神・淡路大震災でクラスメイトを失った西宮市立樋ノロ小学校6年3組。悲しみにも負けず、災害を乗り越えていく子どもたちの生の声とともに、被災から卒業までを描く。	23	VHS
53	純がくれた命	ドラマ (平成10年)	中学生の健一はいじめに耐えかね、飛び降り自殺を図るが一命をとりとめ入院した。病院で同室になった純は難病と闘い必死に生きようとしていた。二人は互いに全く異なった“生きること”への思いが理解できずぶつかり合うが、懸命な純の姿から健一は生きることを模索し始める。	20	VHS
54	街で生きる障害者と共に	ドキュメンタリー (平成10年)	障害者が暮らしやすい街づくりを考えていくグループの活動記録。障害者に対する差別や偏見をなく、共に生活しやすい社会を築くには…。障害者の生活やグループの活動を通し、誰にでも優しい街づくりに向け、私たちが意識を変えていくことの必要性を伝える。	30	VHS
55	山本家の場合	ドラマ (平成11年)	・「男だから、女だから」でなく尊重しあう対等な関係 ・先入観や思い込みにとらわれた考え ・家柄、財産、出身地ではなく心と心でつながる人間関係 ・夫婦、親子も上下でなく対等に接する個人の尊重 山本家の4つのショートストーリーを通して自分の身の周りを振り返ってみる。	13	VHS
56	エンジェルがとんだ日	アニメ (平成8年)	知的障がいがあり純朴な心をもったミキは、健常者の妹(ユウ)と母の三人家族。困難なこともあるが温かい家庭を猫のエンジェルのナレーションを交え明るく描く。物語後半の母と福祉関係者の会話から、障がい者に対する理解と配慮や福祉制度の充実などこれからの課題を考えさせる。	80	VHS
57	人権ってなあに① あなたへのメッセージ	ドキュメンタリー (平成11年)	一言で「人権」と言ってもその内容は実に多種多様。人種・民族・女性・子どもなどなど。各界で活躍する5人の著名人が言葉ではとらえにくい「人権」を実際の体験から分かりやすく語るメッセージ集。 落合恵子さん、吉田ルイ子さん、永六輔さん、江橋崇さん、おすぎさん	41	VHS
58	渋染一揆(児童向け)	アニメ	1856年に岡山藩で起きた渋染一揆。かわたという身分の人々に出された「別段お触書」は、百姓・町人と身分を分け隔てる目的のものだった。これに対し、大勢のかわたの人々が武器一つ持たず礼儀正しく訴え、ついに嘆願書が藩に取り次がれた。この渋染一揆は平等を求め、命を懸けて不当な差別に立ち向かった人の勇気や、人権を守ることの大切さを伝える。	15	VHS
59	渋染一揆	(平成6年)		30	VHS
60	患の鐘よ明日の空へ	ドキュメンタリー (平成10年)	「患の鐘」は昭和10年に国立療養所長島愛生園の患者と職員によって光が丘に完成し、現在も朝夕6時に鳴らされている。昭和6年からハンセン病患者の隔離と治療が行われた長島愛生園の歴史と、治療する病だと明らかになってから現在までの様子を伝える。	31	VHS
61	人権ってなあに② ジェンダーフリー ～男女共同参画社会へ～	ドキュメンタリー (平成11年)	女性の人権問題の背後には「男だから」「女だから」と社会的性別で区別する「ジェンダー」が深く関わっている。これらの事例を若者の目線から紹介し、性別にとらわれず、自分らしく生きることへのヒントを語る。	30	VHS
62	しらんぷり	アニメ (平成11年)	小学生のアキラはクラスメイトのドンちゃんがいじめられるのを目撃した。いじめはエスカレートしドンちゃんは学校に来られなくなり、転校することになった。見て見ぬふり・知らんぷりをするのはいじめに加わるということ、助けてあげたいけど何もできないアキラの心の葛藤を描く。	21	VHS
63	障害を持った人とのふれあい	ドキュメンタリー (平成7年)	目や耳の不自由な人、知的障害のある児童と交流している小学生の活動の様子。社会には様々な人が生活していることに気付かせるとともに、日常生活で積極的に人や社会と関わることの大切さを示す。	20	VHS



No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
64	幼児の心を育む 思いやりの心	ドキュメンタリー (平成10年)	心の基礎が形成される幼児期に、スキンシップから子どもは安らぎを感じる。親から思いやりを受けた子の情緒は安定し、優しい気持ちも育っていく。思いやりの心をもてる子どもに育てるためには心の結びつきが必要だと伝える。	18	VHS
65	忍たま乱太郎のがんばるしかないさ ～あたたかい心でしんせつにする～	アニメ (平成11年)	乱太郎・きり丸・しんべえは野外授業のお使いの道中、おばあさんや少年と出会い、温かい心遣いや親切を学んでいく。	10	VHS
66	人間回復の橋、心のかけ橋となれ ハンセン病を正しく理解するために	ドキュメンタリー (平成16年)	ハンセン病が治癒する病になってから久しい。患者と家族を苦しめた隔離政策は廃止され、長島愛生園・邑久光明園の入園者が待ち望んだ「人間回復」の象徴・邑久長島大橋が島と本土を結んだ。残る課題はハンセン病を正しく理解させ偏見や差別をなくすこと。	29	VHS
67	バリアフリー社会を考える ～目の不自由な人に出会ったら～	ドキュメンタリー (平成13年)	障がい者の人たちの社会参加は当然という考えが広まりつつある。しかし、街を歩けばまだまだ障がい者の行動を妨げるバリアがたくさんある。差別意識や偏見の眼差しもそのひとつ。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの疑似体験を通してどの場面で不便だと感じるか気付かせる。バリアフリー社会を目指しバリアを取り除いていこうという意識を高める。	11	VHS
68	バリアフリー社会を考える ～耳の不自由な人に出会ったら～			11	VHS
69	バリアフリー社会を考える ～車いすの人に出会ったら～			11	VHS
70	故郷は心の中に	ドラマ (平成2年)	小学生の純一とかつて蒸気機関車の機関士だった祖父の物語。母の心ない言動が原因で家を飛び出した祖父を追う純一。祖父を思いやる純一の姿に、母の心は動く。この事件が壊れかかった家族の絆を固く結びつける。心の優しさが生活の中で一番大切だということを描く。	50	VHS
71	ありがとうハーナ	ドラマ (平成元年)	視力を失う病気にかかった中3の美樹は、目が治らないことに絶望した。美樹は家を飛び出し交通事故に遭うが、間一髪愛犬ハーナに助けられた。しかし、ハーナは重傷を負い下半身不随になってしまう。ハーナが自由に動けるようにと、家族みんなで作った車イスでハーナは走れるようになる。4人と1匹の家族の絆、ハーナが教えてくれた精神力と生命力に美樹は勇気付けられ前進しようとする。	45	VHS
72	街かどから	ドラマ (平成12年)	閑静な住宅街で若者が起こしたバイク事故をきっかけに、派手な若者と高橋夫妻の明るい交流が始まる。素直な若者たちだが、近所の大人たちは偏見を持っていた。しかし、高橋夫妻の話からそれが間違いだと気づき、互いの良さを知っていく。ともに暮らす人々が大人・若者・外国人などの枠にとらわれず交流を図り、思いやりのある人間関係を育むにはどうすれば良いかを問いかける。	24	VHS
73	公正な採用と選考	ドラマ (平成12年)	人事担当になり、採用選考を任せられることになった祥子。公正な採用選考のあり方を模索していくうちに、応募者の基本的人権を尊重する必要があることに気付く。差別のない採用選考は企業側にとっても、優れた人材確保につながる。	26	VHS
74	女性の人権を考える	ドキュメンタリー (平成14年)	DV、セクハラ被害者の体験談から、私たちの心の中にある女性差別意識は解消されたのかを問いかける。男女平等を目指す法的環境整備は少しずつ進んでいるが、男だから・女だからという私たちの意識を変えていくことも男女平等社会を作っていくうえでとても重要だと指摘する。	25	VHS

75	み〜つけた！	アニメ  (平成18年)	小学4年の真樹はおとなしい性格で、クラスメイトから飼育委員長を押しつけられた。転校生の俊平は真樹に「思っていることは言わなきゃ」と言うが、真樹は自分に劣等感を持ち思いを発言できないでいた。ある時、真樹の欠席が続き、ウサギの世話をしたクラスメイトは真樹がどんなに努力して世話をしていたのかに気付く。そして、クラスみんなでウサギの世話をし、真樹も含めそれぞれの良い所を認め始める。	18	VHS
76	鬼の子とゆきうさぎ	アニメ  (平成7年)	鬼の子は人間とは関わりを持たず、山の奥に住んでいた。ある日、お父さん鬼が土産だといいい人間の子(ユキ)の手毬を持って帰るが、鬼の子は手毬を無くしたユキを思うと胸が痛んだ。次の日、山を下りユキに手毬を返しに行く。ユキはとても喜び、お礼に雪ウサギを鬼の子に渡すと鬼の子も大喜びし、二人の友情が生まれた。	22	VHS
77	日本に暮らす 新来外国人	ドキュメンタリー  (平成14年)	日本で労働や定住をする外国人が増えた。しかし、不況のおおりで雇用状況が悪化しても、生活基盤が日本にあるため母国に帰れないという人もいる。そのような人の相談に取りむネットワークや、オーバーステイの人たちの支援をしている団体を紹介。外国人と共に暮らすにはちがいを認め合い、一人一人と向き合うことが大切。国際社会の中での人権を考える。	25	VHS
78	人権ってなあに⑦ あなたへのメッセージ	ドキュメンタリー  (平成11年)	一言で「人権」と言ってもその内容は実に多種多様。人種・民族・女性・子どもなどなど。各界で活躍する5人の著名人が言葉ではとらえにくい「人権」を実際の体験から分かりやすく語るメッセージ集。 東ちづるさん、川田龍平さん、星野昌子さん、中坊公平さん、白井貴子さん	44	VHS
79	人権ってなあに⑩ この街で一緒に	ドキュメンタリー  (平成16年)	視覚障がい者、精神障がい者、身体障がい者、知的障がい者の活動・仕事のドキュメンタリー。差別することなく、一人一人を尊重し、みんなが暮らしやすい心のバリアフリー社会を考える。	42	VHS
80	人権に向きあうための 6つの素材	ドラマ  (平成15年)	どこにでもありそうな家族の会話をミニドラマで再現し、私たちの周りにある人権問題を提示する。DV・高齢者・障がい者・報道被害・HIV感染・同和問題の背景や立場の異なる人々の思いを描き、人権とは何かを考える。	27	VHS
81	もう一度あの浜辺へ	ドラマ  (平成15年)	寝たきりの母の介護をする夏美と父。しかし、父が不注意からボヤ騒ぎを起こし、夏美は両親にきつく当たってしまった。ある日、両親が居なくなり離れて暮らす兄と姉を呼ぶが介護をめぐって言い争ってしまう。両親が通っていたデイサービスの職員の話から、介護する側・される側にとってより良い介護とは何かを考えはじめ、家族で昔よく行った浜辺に両親を迎えに行く。介護に関する正しい理解の必要性を伝えるとともに、高齢者の人権や家族のありかたを考える。	38	VHS
82	風の舞	ドキュメンタリー  (平成15年)	元ハンセン病患者が、強制隔離の悲しみや苦しみを語る。強制隔離の歴史を理解するとともに、正しい知識の必要性と人間の尊重を考える。	59	VHS
83	しっばい いっばい もいっかい	アニメ  (平成13年)	ボンタたち森の仲間、森の子どもの音楽会で大失敗をしてしまう。森の番人バクさんに失敗を食べてもらって気分は晴れ晴れするがまた失敗してみんな落ち込む。今度はバクさんが「もいっかいのタネ」をくれ、失敗が怖くなくなった。子どもたちは失敗の体験を通して学び成長していく。失敗しても落ち込まず、やり直す勇気や励まし合って失敗を乗り越える力を育む。	17	VHS
84	ジェンダーにとらわれない職場の常識①	ドキュメンタリー  (平成16年)	男女共同参画社会におけるキャリアビジョン・ライフビジョンの描き方から、プランの落としこみまでの考え方、母性保護や男性の更年期障害などジェンダーにともなう健康上の基礎知識、ジェンダーにとらわれない職場のコミュニケーションまでを解説する。	23	VHS
85	ジェンダーにとらわれない職場の常識②			23	VHS

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
86	私たちの人権宣言 転校生はおばあちゃん！？	ドラマ (平成16年)	中二のみちるのクラスに74歳のおばあさん(ウメ)が転校してきた。年の離れた転校生となかなか打ち解けられずにいたが、ある日、ウメから戦争時代のつらい経験を聞き命の尊さについて考え始める。命の大切さに気づき、思いやりの心を伝える。	50	VHS
87	人権の扉を開く ～気づいてますか？身近な人権～	ドラマ (平成16年)	対等な関係で共働きする夫婦が職場で直面する、性別役割分担、差別・偏見・思い込みの背景、パワーハラスメントなどの問題点を監修者が解説する。思い込みや安易な同調でなく、人権に関する気づきを大切に、個人として尊重することの重要性を考える。	25	VHS
88	人権入門	ドラマ (平成17年)	日常生活の10の場面を人権の視点で捉えてみる。そこには固定観念、先入観、思い込み、偏見などにとらわれ、なんとなくくっきりこないことがあるのではないだろうか。時にはトラブルに発展することも…こんなとき、あなたならどうするか。このビデオをきっかけにしてみよう。	23	VHS
89	みずぶ	シネマ (平成13年)	命あるもの全てへの慈しみを平易で透明な言葉で詠った童謡詩人金子みずぶの半生を端正に描いた秀作。	105	DVD
90	ふれあいの門	ドラマ (平成3年)	あや子と同和地区出身の雄太は、あや子の父に反対されながらも結婚した。結婚後も父子の溝はなかなか埋まらず、しかも、父には老後娘と同居できない寂しさがあった。雄太の人柄でなく先入観や世間体で人を判断する父と、理解してほしいと伝え続けるあや子、いつしか徐々に歩み寄り二人の心の変化を描く。	55	VHS
91	根っこのルール	ドラマ (平成11年)	子どもたちの遊びや社会組織にもそれぞれ「根っこのルール=人権」がある。不合理な区別や差別をせず、平等にするために根っこのルールを基本とし、その上で誰もが納得できるルールを作る。後半は、同和問題解消に向けて作られた法律について年代を追って解説している。	37	VHS
92	私たちと人権 ～赤ちゃんのささやき～	ドラマ (平成9年)	主人公の職場の課長は、人権の意識が足りず取引先とトラブルを起してしまう。主人公は人権問題と真摯に向き合う前任の課長の助けを得て、トラブルを解決する。結婚や職場における人権問題への考え方について問いかける。	31	VHS
93	ごめんねミーちゃん	アニメ (平成17年)	大樹は猫のミーちゃんを自分の思い通りに飼おうとしていた。ある日、大樹はミーちゃんが迷子になるといけないと思い首に縄を付けたが、ミーちゃんは嫌がり縄を外して逃げ出し交通事故に遭ってしまった。自分の思い通りにはならず、生き物それぞれに心があるということ・命の大切さ・相手を思いやる気持ちを、幼児・小学校低学年向けに描く。	12	VHS
94	スクール・セクハラ ～小学校編～	ドラマ (平成13年)	「スクール・セクハラとは何か」「注意しておきたい家庭の対応」「被害を受けた子どもからのSOS」「スクール・セクハラを防止するために」という4つのテーマから、どのような行為が問題にされているか、児童がどのような行為を不快に感じているかなどを具体的に解説し、小学校での問題点について考える。	25	VHS
95	スクール・セクハラ ～中学校編～	ドラマ (平成13年)	「スクール・セクハラとは何か」「注意しておきたい家庭の対応」「被害を受けた子どもからのSOS」「スクール・セクハラを防止するために」という4つのテーマから、どのような行為が問題にされているか、生徒がどのような行為を不快に感じているかなどを具体的に解説し、中学校での問題点について考える。	25	VHS
96	新しい風	ドラマ (平成15年)	新興住宅地に住む夫婦が、仕事や地域活動を通じて、児童虐待やドメスティックバイオレンスの問題と関わり、「家庭内の人権」について考え始める。家庭における一人一人の人権の大切さや家族のありかたを考える。	30	VHS

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
97	STOP HIV/AIDS	ドキュメンタリー (平成16年)	HIV/エイズ拡大の世界的な現状や、社会的な取り組み、治療薬開発の最前線などを紹介。若者に対して急がれる予防教育について、学校教員や保健所職員など青少年に接する関係者に、正しい理解と知識を持ってもらい、若い人たちに働きかけることの重要性を訴える。 (エイズ予防教育教材)	38	VHS
98	一つの花	アニメ (平成14年)	昭和19年の夏、戦況が悪化し食糧不足だった頃。幼いゆみこが覚えた言葉は「ひとつだけちょうだい」だった。お父さんが兵隊として戦争に行く見送りの駅でゆみこは、「ひとつだけちょうだい」と言って泣き出す。お父さんは咲いていたコスモスをゆみこに渡し、二度とかえってこなかった。幼い少女の言葉が戦争の悲惨さを物語る。	23	VHS
99	一つの花 (字幕スーパー付き)				
100	「障害者」それぞれの暮らしそれぞれの自立	ドキュメンタリー (平成16年)	地域社会へ出て暮らし始めた障害者、グループホームで生活している障害者、従業員の半数以上が障害者というベーカリー店の現実を映し出す。障害者一人一人が個性を持っていて尊重されるべきという考えを前提に、互いを認め大切にしていくことが共生社会だと説く。	27	VHS
101	セクシュアル・ハラスメント ～しない させない 許さない～	ドラマ (平成18年)	ドラマで問題提起し、解説とともに振り返り、どこに問題があったのか考えていく。セクハラ問題は多様化し、誰もが被害者・加害者になってしまう可能性がある。「セクハラはしない、させない、許さない」を再認識し、互いの立場を尊重し認め合うことで働きやすい職場を作っていく。	24	VHS
102	気づくことがはじめての 一歩 ～男女共同参画社会を築くために～	ドラマ (平成14年)	家庭と地域を舞台に、男女共同参画の意識を持っている夫婦と旧来からの役割分担意識を引きずった夫婦を対比させ男女共同参画について考えさせる。男女とも性別にとらわれることなく対等に認め合い助け合っていく社会づくりには、それぞれの意識を変えていくことが必要だと説く。	24	VHS
103	あっ!危ないきみならどうする	ドラマ (平成18年購入)	子どもたち自身で不審者を見分ける目を養うために、「学校帰りの危険」「一人で遊ぶことの危険」「公衆トイレでの危険」「エレベーターでの危険」「一人で留守番をするときの危険」5つの危険な場面をとりあげ、きみならどうする?と問いかけ、防犯・安全について考える。 (防犯・安全教育教材)	27	DVD
104	盲導犬クイールの一生	アニメ (平成16年)	実在した盲導犬の一生を写真で綴った同名ベストセラーをアニメ化した作品。生まれてすぐ盲導犬になることを運命づけられたクイールの成長と、ブリーダー、パピーウォーカー、パートナーとの出会いと別れ。そして、深い絆を描いている。盲導犬の一生を通して、たくさんの愛情とふれあいを描く。	25	VHS
105	男女共同参画時代のセクシュアルハラスメント①	ドキュメンタリー (平成16年)	職場のセクシュアル・ハラスメント防止は組織の姿勢にかかっている。組織と行政で防止対策に取り組んでいる福井県武生市と予備校・河合塾での対策を通して、原因や効果的な取り組み事例を見ていき、解決に必要な対応法を考える。	22	DVD
106	男女共同参画時代のセクシュアルハラスメント②	ドラマ (平成16年)	どんな言動がセクハラになるのか、同じことをしても許される人とそうでない人がいてわかりにくいもの。被害者を主体に考えることを基準とし、実例をあげて、なぜセクハラに相当するかを解き明かす。	20	DVD
107	外国人労働者問題から多民族共生を考える	ドキュメンタリー (平成19年)	中国から技能実習生を受け入れ育成している会社社長と労働者を描く。単に労働力としてではなく中国人に知識と技術を習得させ、帰国後の就職・生活に役立つよう期待する。一方、日本に住む外国人の多くは就職の際に偏見や差別を感じている。個人の知識や技術を生かせる採用が企業側に求められている。外国人労働者の人権と多民族共生を考える。	32	DVD

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
108	夕映えのみち	ドラマ  (平成18年)	インターネットは、「人と人」「人と情報」を繋いで豊かな社会を作れるが、使い方を間違えると人と人の絆を断つ凶器に変わってしまう。高校生のあかりはインターネットの掲示板に書き込んだ内容で親友のさきを傷つけてしまう。あかりの両親は学校や保護者に呼びかけ「人権とインターネット」について勉強会を開き、インターネット社会で「人とどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考えていく。また、大人が他人を批判したり、噂話をするのが子どもに与える影響についても保護者の目線から考える。	38	DVD
109	忍たま乱太郎のがんばるしかないさ ～きまりを守って協力しあう～	アニメ (平成11年)	約束事を忘れて自分勝手に行動してしまう忍たま3人組。食事当番となった日、とんだ失敗をしてしまうが、仲間たちの温かい協力でおいしいカレーが完成。周りへの配慮の大切さを伝える。	10	VHS
110	「人間裁判」 朝日訴訟	ドキュメンタリー (昭和37年)	結核療養所で闘病していた朝日茂さんが「保護費が低すぎて最低限度の生活すら送れない。憲法違反だ」と国を相手に戦った裁判。裁判支援は大きな運動になり、その後の生活保護行政や社会保障充実に大きな影響を与えた。朝日茂さんが訴え続けた生存権獲得のための、「不断の努力」の記録を約50年前の実際の映像で伝える。	30	VHS
111	えっこれでも人権？ ～4コマ劇場より～	ドラマ (平成21年)	私たちの日常生活の中にありがちな出来事をドラマと4コマ漫画で描く。解説を交え「これでも人権問題なんだ」と再認識させ、人権は誰にとっても大切なものだ伝える。	30	DVD
112	Meet the ヒューマンライツ ～若者たちが出会った人々～	ドキュメンタリー (平成14年)	6人の若者たちが人権問題に取り組んでいる人たちと率直に話し合い日常の無意識な言動に潜む偏見や差別を自覚する。その気付きは、人権問題を自分自身の問題として考えることにつながる。若者たちの「人権」との出会いと発見を彼らの言葉で綴る。	27	VHS
113	ひびけ!和だいこ	アニメ  (平成16年)	公民館で和太鼓の練習をする子どもたち。だが、啓吾はリズム感がつかめず練習からはずされてしまった。そんな時、地域の大人たちから太鼓の音がうるさいと言われ練習ができなくなってしまう。担任の先生からのアドバイスで勇気をもって地域の大人たちと話し合うが、意見は対立した。しかし、話し合いを重ねるうち大人たちは身勝手に練習を止めさせたこと、子どもたちも身勝手に啓吾を仲間はずれにしたこと、それぞれに誤りだったと気付き心の交流が生まれていく。「子どもの権利条約」を踏まえ、他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ることになるのだと気付かせる。	22	VHS
114	老いを生きる ～今日もどこかで高齢者のサインが～	ドラマ (平成19年)	認知症の富江の徘徊癖に家族は困っていた。息子の嫁(貴子)は介護を自分一人に任せられ、どうしてよかわからず、富江の手足を縛ったこともあった。その家庭に社会福祉士・保健師・地域のたくさんの人が関わったことで、夫も理解を示し、高齢者の認知症・介護・虐待の問題に家族ぐるみで取り組み始める。	35	DVD
115	ひとみ輝くとき	ドラマ (平成20年)	毎年恒例のクラス対抗駅伝に向け練習に励む中学生のクラスでいじめられる拓也。電車風景をカメラに収めていた俊介がそのいじめに気がつくが…。最近、携帯電話やインターネットを悪用した表にでにくい陰湿ないじめが増えている。いじめの構造を示し、被害者・加害者・観衆・傍観者、それぞれの立場から考え話し合える構成で、いじめ撲滅を目指す。	35	DVD
116	ねずみくんのきもち	アニメ  (平成20年)	ねずみくんは、ねこくんにいじわるされたが「自分は小さくて気が弱くて失敗ばかりするからいじめられるのかな」と言う。優しい、ふくろうさんに「ねこくんが一番大切なものを忘れていたんだよ」と言われ、ねこくに「お弁当をいっしょにたべよう」と誘い、一緒に遊ぶことができた。いじめやコンプレックスについて考え、一人一人が大切な存在だと気付かせる。	12	DVD

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
117	日常の人権Ⅰ ～気づきから行動へ～	ドラマ ドキュメンタリー (平成21年)	日常生活の中に潜む「女性・子ども・高齢者の人権問題」を取り上げ、人々の心にある偏見や差別で苦しむ人々の心の痛みを伝える。	23	DVD
118	人権のヒント・地域編 ～「思い込み」から「思いやり」へ～	ドラマ (平成22年)	街の喫茶店に様々な思いを抱えた人が集ってくる。「女性は家庭に入るべき?」「障がい者は何でも介護されるのが当たり前?」「言いたいことはどこまで主張すべき?」「先入観から決めつけてない?」など日常生活に隠れている人権問題を取りあげ、自分の中の人権意識を考える。	25	DVD
119	たんばい探梅 春、遠からじ	アニメ (平成23年)	亜紀夫婦は東京から北九州に引っ越してきた。亜紀は、近所の世話好きおばさんの邦子が声をかけても「余計なお世話」だと関わらずにいた。ある日、飼っていた猫のパンナがなくなり、その間浪岡という老人が世話をしていた。浪岡は酒好きで近所の人から警戒され孤立した存在だった。亜紀はお礼を言いたくて邦子と一緒に浪岡に関わっていく。二人の気持ちが地域の人たちに伝わり、一人また一人と関わる人が増えていった。人権問題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していく。しかし「困ったときはお互いさま」という気持ちが助け合う社会へと繋がる。	40	DVD
120	モップと箒 ～大阪発の障がい者雇用～	ドキュメンタリー (平成23年)	障がい者雇用の場は広がりつつあるが、働きたいのに働けない障がい者はまだ多く存在する。エル・チャレンジ(大阪知的障害者雇用推進建物サービス事業協同組合)に関わった知的障がい者と支援者の姿を一年半にわたり取材した記録。そこには暗いイメージではなく、人と人が真剣に向き合う温かいつながりがあった。社会の中で働くことの意味を問いかける。	30	DVD
121	あたたかい眼差しを ～虐待から子どもを守る～	ドラマ (平成24年)	山田夫婦は隣家の物音から児童虐待を疑うがなかなか通告できずにいた。しかし、手遅れになることの方が大きな問題だと気づき、ついに児童相談所に通告した。どうすれば虐待から子どもを守れるのか。どうすれば子どもたちの人権を守れるのか。制度や法整備に加え、地域のつながりを育み、家庭を見守ることが虐待を防ぐ有効な取り組みだと専門家は語る。	22	DVD
122	「おびいさま」 こうご たまえ 光後 玉江	偉人伝 (平成25年)	幕末から明治にかけて、津山洋学を学び47年間産科医として地域医療に生涯を捧げた女医 光後玉江の物語。		CD版
123	～洋学を学び、女性たちの支えとなった産科医～			約20	紙芝居
124	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	ドラマ (平成25年)	家庭の中の人権に目を向け、男性の育児、結婚をめぐる身元調査、親の介護、DVなど信頼すべき家族の間にも人権侵害が起きると示唆する。その上で、一人ひとりが家庭の中の人権について見つめ直し後世に伝えていくことは、すべての命を大切にすること。そして、妬むことなく柔らかな心と曇りない目を持つと伝える。	25	DVD
125	未来への絆 ハンセン病問題から学ぶ	ドラマ (平成25年)	長島愛生園・邑久光明園の関係へのインタビューから、ハンセン病の基礎知識を学ぶ。回復者は過去を振り返り施設見学に来た小中学生との交流や各地での講演で若い世代に語り継いでいる。ハンセン病に限らず全ての人権問題に対して、正しく知ろうとすることの大切さを示唆するとともに、人権問題を考えるきっかけの場としてたくさんの人に両園を訪れてほしいと呼びかける。	25	DVD
126	同和問題 ・過去からの証言、未来への提言 ・未来に向けて	ドキュメンタリー ドラマ (平成26年)	(ドキュメンタリー:人権教育担当者向け)同和問題の歴史を証言者たちが語り、問題解決への取り組みや運動、法の施行などを解説する。様々な取り組みで改善されたことは多いが人の意識の問題は今も残っているのではないだろうか。	61	DVD
			(ドラマ:一般向け)結婚問題に焦点を当てたドラマ。偏見や差別はいわれのないものだと気づき、正しい理解の大切さを考える。	19	

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
127	いのち輝くとき	ドラマ  (平成10年)	マンションに隣接した「ふれあい菜園」ではマンション住民が野菜や花を育て、コミュニケーションの場でもあった。ある日、自治会長はマンションに引っ越してきた親子の様子が気に入り「ふれあい菜園」に誘い、関わりを持ち始める。地域社会から孤立している核家族の中で起きていた児童虐待。近隣の人々の温かい心と地域社会の支えて、児童虐待家庭が立ち直ろうとしていく。	30	DVD
128	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	朗読・アニメ  (平成26年)	全国中学生人権作文コンテスト入賞作品から、「本当の国際化とは」「電車内に咲いた、笑顔の花」「立ち止まる」「NO!と言えろ強い心をもつ」「絆」の5作品を朗読とアニメーションで紹介。中学生が書いた作文を通して、人権について考える。	46	DVD
129	あなたがあなたらしく 生きるために ～性的マイノリティと人権～	ドラマ 解説  (平成26年)	「トランスジェンダーの女子中学生の場合」「同性愛の男性会社員の場合」のドラマを例にあげ、性的マイノリティとはどのようなことかを解説。理解の少なさから性的マイノリティの多くが生き辛さを感じている。それぞれの生き方を尊重し、偏見や差別をなくすには、性的マイノリティについての正しい理解が必要である。	30	DVD
130	家庭の中の人権 カラフル	ドラマ  (平成26年)	他人の噂、子どもの就職、子どもの結婚、性別に対する“普通”という思い込みなどの問題に、ある家族が直面する。多様性や個性を認めることが大切なのだと家庭の中で気づいていく。知らず知らずのうちに人権侵害をしていないかを問いかける。	31	DVD
131	ハンセン病問題 ・過去からの証言、未来への提言 ・家族で考えるハンセン病	ドキュメンタリー ドラマ  (平成27年)	(ドキュメンタリー:人権教育担当者向け)強制隔離というハンセン病に対する国の間違った政策による人権侵害と、いまだに誤った認識と差別や偏見があることを、当事者の証言を交えて知る。 (ドラマ:一般向け)ハンセン病を知ろうとする中学生の娘を通して、間違った認識をしていたことを家族が気づいていく。ハンセン病を知り、正しい理解の大切さを考える。	56 20	DVD
132	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～	ドラマ  (平成27年)	女性の人権・子どもの人権・障害のある人の人権・外国人の人権 私たちに身近な4つの課題とどのように関わっていくか、国際的な視点で考える。互いの違いを認めつつ尊重しあうことの大切さを問いかける。	35	DVD
133	炎の記憶 1945年6月29日 岡山空襲	ドキュメンタリー  (平成27年)	岡山空襲で使用された焼夷弾やB29について、資料映像と共に解説する。また、岡山空襲体験者の記憶をアニメで再現し、戦争の悲惨さ、平和への願いを訴える。(アニメ編のみ:5分)	20	DVD
134	大切なこと	ドキュメンタリー  (平成27年)	第二次世界大戦開始から岡山空襲までの経緯や、日本家屋を焼き尽くす目的で作られた焼夷弾の実験、製造の解説と映像。なぜ戦争をするのか、なぜ対立するのかを問いかけ、岡山空襲体験者の体験談と、貴重な資料や記録を次世代に伝えていくことの大切さを伝える。	29	DVD
135	戦後70年、平和の 思いを次世代へ ～岡山空襲の証言～	朗読  (平成27年)	3人の岡山空襲体験者を取材し、その方々の戦災当時と同じ年代の高校生が岡山空襲の証言を朗読する。体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さを考える。	24	DVD

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間 (分)	形態
136	風の匂い	ドラマ  (平成28年)	知的障害の歩が働き始めたスーパーに勤めていた正人。ふたりは幼馴染だったが、大人になったふたりを隔てるのは健常者と障害者という壁だった。その壁とは何なのか…。ふたりの成長と職場での人間模様を通して、共に生きることや、必要な配慮の大切さを考える。	34	DVD
137	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	ドラマ 解説  (平成28年)	日本へ訪れる外国人も、日本で暮らす外国人も増えている中で、人権にかかわる様々な問題を「家庭・地域でみられる偏見や差別」「職場でみられる偏見や差別」「ヘイトスピーチ」の3つのドラマを通して、多文化共生社会を築くために私たちに何ができるか、解説を交えて考える。	33	DVD
138	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	ドラマ 解説  (平成28年)	インターネットの匿名性を悪用した、なりすまし・誹謗中傷・プライバシーにかかわる映像や情報の掲載など、人権侵害につながる行為が増え、特にネットいじめや子どもたちをターゲットにした犯罪が社会問題になっている。このドラマでは3人の女子高生がネットでのトラブルに遭ってしまう。「加害者にならないためには…」「トラブルに遭ってしまったら…」を考え、インターネットを利用する上での危険性や安全な利用法、対策などをまとめている。	30	DVD
139	わたしたちが伝えたい、大切なこと -アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品-	作文(アニメ)  (平成28年)	全国中学生人権作文コンテスト入賞作品「差別のない世界へ」「手伝えることはありますか」「共に生きるということ」を原作とした、3つのアニメーションを通して、人権とは何か、自分自身の問題として考える。	31	DVD
140	認知症と向き合う	ドラマ  (平成28年)	認知症の文乃と同居することになった娘夫婦の春樹たち。ひどい物忘れや徘徊・暴言・暴力といった症状に振り回され、家族はバラバラになっていく。文乃はもう何もわからない、何もできないと考える家族。そんな時、見つけた文乃の日記には記憶を失う恐怖、情けない自分への怒り、家族に迷惑をかける申し訳なさ…誰もが気付かなかった文乃の思いが綴られていた。それに気付いた時、家族は変わり始めた。	30	DVD
141	企業と人権	ドラマ  (平成29年)	企業がなぜ人権に取り組む必要があるのか、企業が関わる主な人権課題にはどのようなものがあるのか、対処のポイントや事例を含め解説をする。	40	DVD
142	平和への伝言	資料集  (平成4年)	昭和6年～太平洋戦争中の新聞、「灯火管制と警報」「鉄と銅をお国のために」「白米食廃止アピール」などのピラ、徴兵検査通達書、罹災証明書、戦死通知書、など復刻戦争資料32点と、その解説を掲載。太平洋戦争開戦のニュースと天皇の詔書、敗戦時の「玉音」放送、戦争体験の話が収録されたカセット付き。		資料集
143	あした咲く	ドラマ  (平成29年)	独身会社員の茜は、父の稔と2人暮らし。ある日、東京で専業主婦をしている茜の姉の翠が、娘の葵を連れて突然帰って来た。『専業主婦は気楽』という茜の発言をきっかけに二人は口論、気まずい空気が流れる。休日、茜は翠を誘って外出し話を聞きだす。翠は家事・子育てに対して非協力的な夫・健太郎からの心無い言葉に深く傷ついて家を出て来たのだった。自分の視野の狭さを痛感する茜… 幸せの形は十人十色。自分で自分の生き方を選択し、自分の花をいきいきと咲かせることのできる多様性を尊重する社会の実現について考える作品。	36	DVD



No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間(分)	形態
144	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	ドラマ 解説  (平成30年)	障害の有無・性別・年齢に関係なく、お互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる社会(ユニバーサル社会)を作るためにはどうしたら良いのか？ 事例・各団体の取り組みを紹介しながら、心のバリアフリーの大切さをわかりやすく説明する。	33	DVD
145	～「共生社会おかやま」の実現を目指して～ 障害のある人の雇用	事例 解説  (平成16年)	「共生社会おかやま」の実現を目指すにはどうしたらよいか。障害のある人の雇用に先進的に取り組む企業2社の事例を含め解説する。	16	DVD
146	多様性入門	ドラマ 解説  (令和元年)	今企業では、多様性を尊重する重要性がますます高まっている。多様性とは、外国人、障害者、高齢者などの多様な価値を皆が受け入れることと認識されているが、その思い込みに対して一石を投じる。居場所やタイミングで誰もが少数派になり得ることを心に留め、強みを生かしながら弱みを補い合う関係を築くことがこれからの多様性社会で大切であることを伝える作品。	27	DVD
147	知りたいあなたのこと 外見からはわからない 障害・病気を抱える人	事例 解説  (令和元年)	現在よく目にするようになったヘルプマーク。このマークは、外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送る人の助けになっている。外見からはわからないことで周囲に理解されず、辛い思いをする人も多い。この作品では、2人の難病患者さんとてんかんと発達障害を抱える大学生の取材を通じて、私たちにできる配慮について考えていく作品。	21	DVD
148	シェアしてみたら わかったこと	事例 解説  (令和元年)	上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たちだった。住人たちとの交流の中で戸惑いを感じつつも時間、空間、思いをシェアしながら、あらゆることに初めて気付く。世の中の多様性をシェアハウスで暮らす住人を通じて考える。	46	DVD
149	カンパニユラの夢	ドラマ   (令和2年)	主人公の岸本麻帆は、あることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づく。一方、近所に住む、20年以上ひきこもり状態にある谷口誠一とその両親は問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせず苦悩している。麻帆は谷口家の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こす。高齢化に伴い、社会問題となっている8050問題を地域共生社会の観点から考える。	36	DVD
150	ずっと助けてと叫んでた	ドキュメンタリー   (令和元年)	「母を守るために」性的虐待に耐えた少女とその少女の命をつなぎとめた人々のドキュメンタリー。勇気を出して発したSOSに、電話相談員の「辛かったね、苦しかったね」という言葉は、初めて出会った大人の温もりだった。ひとりの少女に寄り添い続けた人々の証言が、性暴力をなくすために私たちが今すべきことを教えてくれる。	63	DVD

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間(分)	形態
151	ハンセン病問題を知る 元患者と家族の思い	アニメ 解説  (令和3年)	ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録している。ハンセン病についての正しい知識や歴史、近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深め、偏見や差別のない社会について考える。	35	DVD
152	君が笑っていた ～ソーシャルディスタンスの 罫～	ドラマ  (令和3年)	新型コロナウイルス感染は、感染者、その家族・親族や、病院関係者への誹謗中傷・差別を生んだ。急激に姿を変える社会の現実を通じ、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品。 全編視聴と前編「問題提起」・後援「解決に向けて」各10分程度の視聴が選べる。	23	DVD
153	夕焼け ケアラー ～だれもが人権 尊重される社会を～	ドラマ  (令和3年)	主人公は、弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラー。元ケアラーとの交流によって、自分の状況や本当の気持ちを見つめ直し、人と人が繋がっていくことで、ケアラーと家族の問題解決の糸口が見つかり、将来に向き合うための一歩を踏み出す。年齢属性を問わず、ともに助け合える社会の実現をめざすことを目的とした作品。	35	DVD
154	くう としの ～あなたがそばにいただけ で～	アニメ  (令和2年)	認知症の犬しのと介護猫くうの感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーション。年齢も性別も違う犬と猫の関係性を通して、大切な人が認知症になってしまったら、その人に何をしてあげることができるのか、自然と考えることができる、心がほっこりする物語。	12	DVD
155	知りたいあなたのこと3 きこえない人の生活 ・気持ち	事例 解説  (令和4年)	耳の聞こえない・聞こえない方々は、障がいを持っていることが周囲から分かりにくい・困っていても周囲にはなかなか伝わりにくい。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか、聴覚に障がいを持つ方々の話を通じて、私達にできる配慮を共に考えてゆく。	21	DVD
156	インターネットと個人情報 報 自分自身を守るポイント	事例 解説  (平成29年)	中学生・高校生向け パソコンやスマートフォンの使用が一般的になった現在、10代の子どもの多くは、個人情報を守ることを認識しないまま、無防備にネットを利用していることが少なくない。ID やパスワードとは何か、個人情報の漏洩の予防、対処法について示し、インターネットを安全に使うにはどうすればいいのかを考えさせる作品。	20	DVD
157	バースディ	ドラマ  (令和4年)	性的少数者は、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じるなど様々な問題を抱えている。一人の性的少数者の女性が、悩みながら両親や会社にカミングアウトしたことで、周囲に巻き起こる混乱を通して、多様性を認め、すべての人が自分らしく生きていける社会の実現を目的とした人権啓発ドラマ。	37	DVD

No.	題名	分類 (製作年)	内容	時間(分)	形態
P1	人権パネル(12枚) (74 cm × 52 cm)	パネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権ってなんだろう</li> <li>・世界人権宣言</li> <li>・子どもの人権</li> <li>・女性の人権</li> <li>・高齢者の人権</li> <li>・ひとりで悩まないでご利用ください。人権相談</li> <li>・ハンセン病、HIVに対する正しい知識を持つ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人の人権</li> <li>・外国人の人権</li> <li>・インターネットによる人権侵害</li> <li>・STOP! DV、セクハラ</li> <li>・あなたのはだは何色?</li> </ul> <p style="text-align: right;">(平成 18 年購入)</p>		

「ひと・ふれあいメッセージ2022」優秀作品

いじめ見て 考えないで まず止めて

きれいだね それぞれの個性 十人十色

多様性 認める心と 尊重を

ごめんなさい ゆうきをだして じぶんから

まわりを見て あなたのそばに 友がいる

やめようよ その一言で きずつくよ

ゆるせない いじめてわらう いじめっ子

言葉もね 暴力なんだよ 心刺す

思いやり 「もらう」じゃなくて 「自分から」

出会いとは きせきのなかの ひとしづく

気を付けよう 差別と区別は 紙一重